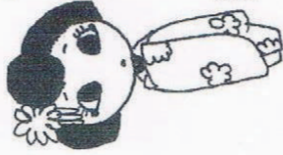


新版歌祭文

野崎村歌



お光



お染



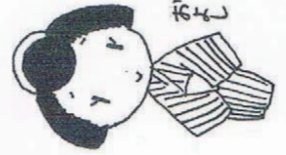
久松



久作



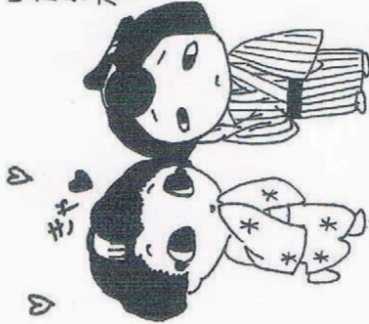
お常



お光

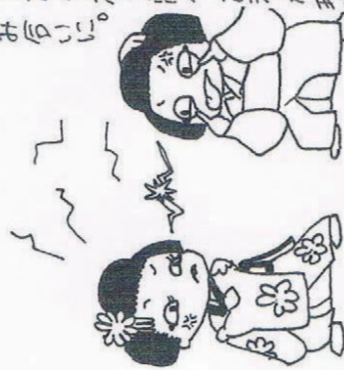
六甲丹生かぶま
丸山美海

① 大阪の油屋から家に戻った久松は、

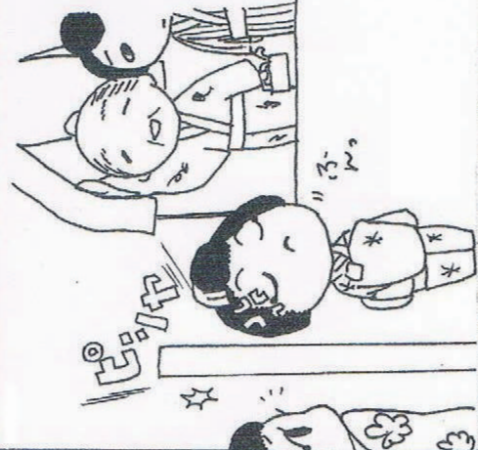


お光と祝言を上げることになりました。

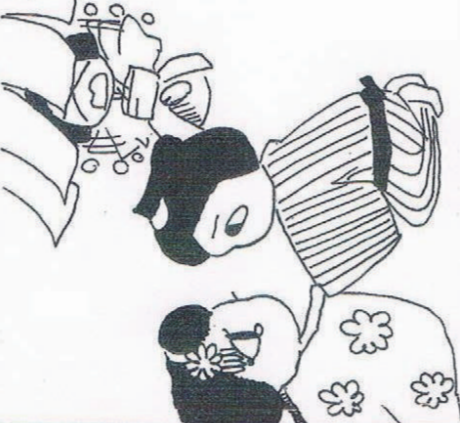
② お光がエキゲンでなまそう作、いると野崎参りにかこつけて久松に会いにまた久松の恋人・お染が現れていがみ合い。



③ お染をしめだすと奥から久作と久松がやてきます。



④ お染に気づいた久作はお光を連れて奥へ入り、お染と久松は再会します。



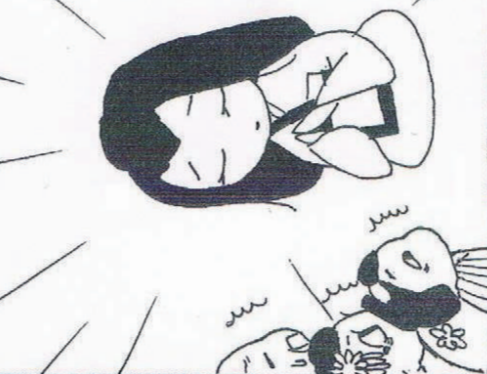
⑤ 一緒にいることができないなら、自殺しようとするお染に心を打たれ、二人で一緒に死のうと約束する久松。



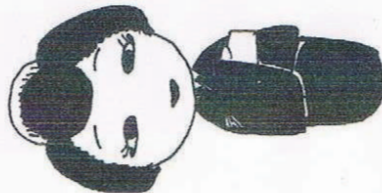
⑥ そとへ現れる久作。久作は二人に別れるよう説得し、二人はうなづかしますが、心の中で死ぬ決心をします。



⑦ そとへ出てきたお光は縊帽子をめぐと襲えらるりました。二人の心を振り回していたのです。



⑧ 四人が深に火していると、お染の母お常が娘と久松を迎えにきました。お染は舟、久松はかごで油屋へ戻ります。



⑨ お光はそとへ戻って、久作にすがり涙を流すのでした。

